

## プログラム

## 1日目 (2026年2月21日[土])

## 第1会場 能楽ホール

- 9:00 ~ 9:05 ■開会式 •挨拶: 木村 文則 (奈良県立医科大学 産婦人科学講座 教授)
- 9:05 ~ 9:15 ■会長講演「原点に返る～がん治療および生殖医療の発展と多種職協働を見つめなおす～」  
•座長: 高井 泰 (埼玉医科大学 医学部総合医療センター 産婦人科 教授)  
•演者: 木村 文則 (奈良県立医科大学 産婦人科学講座 教授)
- 9:15 ~ 9:45 ■基調講演「日本がん・生殖医療学会の「今まで」と「これから」」[supported by 赤崎クリニック]  
「日本がん・生殖医療学会の成熟と今後の展望」  
•座長: 吉村 泰典 (慶應義塾大学 名誉教授) •演者: 古井 辰郎 (岐阜大学医学部附属病院 周産期・生殖医療センター 教授)
- 9:45 ~ 10:15 ■指定講演「地域のがん生殖医療を実践する体制・医療者をどのように育てたか」[supported by 赤崎クリニック]  
「滋賀県における Oncofertility の潮流」  
•座長: 森重 健一郎 (大阪急性期・総合医療センター 生殖医療センター長)  
•演者: 村上 節 (滋賀医科大学 名誉教授)
- 10:15 ~ 10:20 休憩
- 10:20 ~ 11:05 ■一般演題 - 口演発表 I ①
- 11:05 ~ 11:10 休憩
- 11:10 ~ 11:50 ■一般演題 - 口演発表 I ②
- 11:50 ~ 13:30 休憩
- 13:30 ~ 14:10 ■当学会の啓発の取り組み～ Medical Upfront message For Girls and women (MUFG) プロジェクト～  
•座長: 梶山 広明 (名古屋大学 産婦人科 教授)  
「女性のがん予防促進プロジェクトの経過と今後の展望」 •演者: 上田 豊 (和歌山県立医科大学 先進予防・健康医学講座 教授)  
「健康新行動の文化を創出するプラットフォーム  
— 医療を「診療の外へ」拡張する取り組みー」 •演者: 清水 裕介 (藤田医科大学 産婦人科学講座 講師)  
「なぜ正しい説明だけでは届かないのか。  
～伝え方、伝わり方について考える～」 •演者: 土橋 通仁 (株式会社 電通 中部オフィス クリエイティブディレクター/  
アートディレクター/ゼネラルマネージャー)  
質疑応答
- 14:10 ~ 14:15 休憩
- 14:15 ~ 14:45 ■特別講演「JOFR の意義と展望」[supported by 赤崎クリニック]  
•座長: 大須賀 穎 (東京大学名誉教授 帝京大学臨床研究センター センター長)  
•演者: 原田 美由紀 (東京大学大学院医学系研究科 産婦人科学講座 教授)
- 14:50 ~ 15:30 ■日本がん・生殖医療学会認定ナビゲーター制度 教育講演 [supported by 久永婦人クリニック]  
•座長: 森本 義晴 (HORAC グランドフロント大阪クリニック 院長)  
「がん・生殖医療を担う医療機関に求められる「認定がん・生殖医療ナビゲーター制度」の役割と展望」 •演者: 小野 政徳 (東京医科大学 産科婦人科学教室 教授)  
「抗がん剤の性腺毒性に関する最近の話題」 •演者: 鈴木 直 (聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 主任教授)
- 15:30 ~ 15:35 休憩
- 15:35 ~ 17:05 ■Oncofertility Consortium Japan Meeting 2026 「OCJpn のあゆみと公的助成の実態から地域格差を考える」  
[supported by 医療法人平治会]  
•座長: 古井 辰郎 (岐阜大学医学部附属病院 周産期・生殖医療センター 教授)  
多田 雄真 (大阪国際がんセンター血液内科 AYA 世代サポートチーム 医長)  
「JOFR からみる地域格差と埼玉県の現状」 •演者: 重松 幸佑 (埼玉医科大学国際医療センター婦人科 脳腫瘍科 助教)  
「愛媛県のがん・生殖医療の実態」 •演者: 安岡 稔晃 (愛媛大学医学部附属病院産婦人科 助教)  
「全国ワークショップによる地域格差改善への取り組み」 •演者: 立花 真仁 (東北大学医学部医学系研究科 周産期医学分野 准教授)  
総合討論 •ディスカッサント:  
重松 幸佑 (埼玉医科大学国際医療センター婦人科 脳腫瘍科 助教)  
安岡 稔晃 (愛媛大学医学部附属病院産婦人科 助教)  
立花 真仁 (東北大学医学部医学系研究科 周産期医学分野 准教授)  
伊東 雅美 (富山大学附属病院 産科婦人科 診療講師)  
圓崎 夏美 (宮崎市立病院 産婦人科)  
齊藤 由美 (国立がん研究センター中央病院 脳腫瘍科)

## 第2会場 レセプションホール1

- 12:10 ~ 13:10 ■エグゼクティブセミナー「乳がん薬物療法とがん・生殖医療 2026」  
「オンコタイプ DX® が導く「納得のいく選択」と 生殖医療連携の重要性」  
•座長: 小泉 圭 (浜松医科大学医学附属病院 乳腺外科 助教・病院講師)  
•演者: 田村 宜子 (虎ノ門病院 乳腺・内分泌外科 医長)
- 13:30 ~ 13:58 ■一般演題 - 口演発表 II ①妊娠性温存
- 14:03 ~ 14:45 ■一般演題 - 口演発表 II ②妊娠性温存
- 14:50 ~ 15:32 ■一般演題 - 口演発表 II ③地域連携体制と専門職による人的支援
- 15:37 ~ 16:19 ■一般演題 - 口演発表 II ④妊娠性温存
- 16:24 ~ 16:59 ■一般演題 - 口演発表 II ⑤がん・生殖医療のアウトカムと周産期予後

## 2日目 (2026年2月22日[日])

### 第1会場 能楽ホール

9:00 ~ 10:30 ■看護・薬剤師・心理士部門・サイコソーシャルケア委員会合同セッション【supported by 医療法人双葉会富雄産婦人科】

・座長：渡邊 知映（昭和大学保健医療学部 教授）／米村 雅人（国立がん研究センター東病院 副薬剤部長）

「がん治療後も当事者が抱く妊娠性への不確実性」

・演者：小泉 智恵（獨協医科大学埼玉医療センター国際リプロダクションセンター 病院講師）

「血液がん治療開始後の生殖に関する継続的アプローチ  
— 看護師の立場から」

・演者：安宅 大輝（東邦大学医療センター大森病院リプロダクションセンター）

「過去のがん薬物療法と妊娠・出産への相談支援  
— 薬剤師の立場から」

・演者：日置 三紀（滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤部 病棟業務支援室長）

「がん治療後のフレコンセプションケア  
— 産婦人科医の立場から」

・演者：片桐 由起子（東邦大学医学部 産科婦人科学講座 教授）

「がん治療後の岐路・その後の人生を考える時  
— 心理士の立場から」

・演者：橋本 知子（IVFなんばクリニック 生殖心理カウンセラー／がん・生殖医療専門心理士）

総合討論

10:30 ~ 10:40 休憩

10:40 ~ 11:40 ■フェリング・ファーマ株式会社共催スポンサーセミナー「胚・卵子凍結する際の実践」

・座長：桑原 章（レディースクリニックコスモス 院長）

・演者：塩谷 雅英（英ウイメンズクリニック 理事長）

「生殖補助医療 一当院の取り組みー」

・演者：斎藤 和毅

「がん・生殖医療における効果的な多職種の連携のために」

（東京科学大学大学院 茨城県小児・周産期地域医療学講座 助教）

11:40 ~ 13:15 休憩

13:15 ~ 14:05 ■乳癌患者の妊娠・出産と生殖医療に関する診療ガイドライン 2026年改定版出版に向けて 一公開パブリックコメントセッション【supported by 三橋仁美レディースクリニック】

・座長：田村 宜子（虎ノ門病院 乳腺・内分泌外科 医長）

・演者：小泉 圭（浜松医科大学医学附属病院 乳腺外科 助教・病院講師）

「乳癌患者の妊娠・出産と生殖医療に関する診療ガイドライン 改訂について 乳癌領域」

・演者：高江 正道（聖マリアンナ医科大学病院 産婦人科学 教授）

「乳癌患者の妊娠・出産と生殖医療に関する診療ガイドライン 改訂について 生殖領域」

14:05 ~ 14:15 休憩

14:15 ~ 15:35 ■胚培養士 長期保管セッション【supported by ASKA レディースクリニック】

・座長：沖村 匡史（加藤レディスクリニック 培養士）／菊池 裕幸（仙台ARTクリニック マネージャー）

・演者：水野 里志（IVF大阪クリニック 生殖技術部門 技師長）

「本邦における凍結保存タンク管理の現状と課題」

・演者：中野 達也（IVFなんばクリニック 生殖技術部門 技師長）

「当院の凍結検体の保存期間更新システムについて」

・演者：宮本 若葉（京野アートクリニック仙台 胚培部サブリーダー）

「妊娠性温存検体の凍結更新の現状と課題」

15:40 ~ 15:50 ■最優秀演題表彰 & 次期会長挨拶 & 閉会式

15:50 ~ 16:30 ■年次総会

### 第2会場 レセプションホール1

9:00 ~ 9:42 ■一般演題 - 口演発表II⑥症例報告

9:50 ~ 10:32 ■一般演題 - 口演発表II⑦妊娠性温存4

10:40 ~ 11:22 ■一般演題 - 口演発表II⑧支援資材の開発と意識調査

12:00 ~ 13:00 ■武田製薬工業株式会社共催ランチョンセミナー「男性妊娠性温存セッション」

・座長：山崎 俊成（神戸市立医療センター中央市民病院 泌尿器科 部長）

・演者：三宅 牧人（奈良県立医科大学 泌尿器学講座 准教授）

「尿路上皮癌および腎細胞癌の診療の底上げ：  
妊娠性に留意すべき薬剤について」

14:00 ~ 16:00 ■市民公開講座